

アジア水環境パートナーシップ(WEPA) - Water Environment Partnership in Asia -

1. 概要

「アジア水環境パートナーシップ(WEPA)」は、第3回世界水フォーラム閣僚級国際会議の成果として、各国の自発的な水問題解決への行動をまとめた「水行動集」に、環境省が登録した施策の一つです。

アジアモンスーン地域の水質汚濁問題の解決を目指して、関係各国が水環境に関する政策、技術等の情報を共有し、先進的な事例を相互に学ぶことのできる仕組みの構築を図ります。具体的には、政策情報、水環境保全技術、市民活動情報、情報源の4分野のデータベースを構築し、それらを活用した人材育成にも取り組みます。

2. 参加国

カンボジア、中国、インドネシア、韓国、ラオス、ミャンマー、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム(10ヶ国)

3. 経緯

- 2003年 3月 第3回世界水フォーラムでWEPAを提案
- 2003年11月 国内検討会^{注)}を設置し、第1回会合を開催
注) (顧問:鈴木基之 国連大学特別学術顧問)
座長:岡田光正 広島大学副学長
- 2004年 3月 WEPA準備ワークショップ開催(インドネシア・ジャカルタ)
- 2005年 1月 WEPA第1回国際ワークショップ開催(日本・東京)
- 2005年10月 国際政策ワーキング会合(日本・東京)
- 2005年12月 国際技術ワーキング会合(タイ・バンコク)

